



日本の里 100 選に選ばれた三富新田で行われた「いも掘りまつり」。子どもから大人まで楽しんだ。

環境と調和した活気あふれるまちづくり

01 安全・安心で クリーンな環境を 未来の子どもたちに

東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故から2年になりますが、いまだ放射線の影響に対して、住民の皆さんには不安が残っています。

消費者の食品等への安全・安心を確保するため、消費庁から貸与を受けている測定機器で、町内で消費される食品や飲料水、自家消費を目的に生産栽培した農産物などの検査を実施します。

町内の家庭や事業所に「緑のカーテン」を普及させることにより、省エネルギーの推進と、人と環境にやさしい快適な生活環境の実現を目指します。また、環境にやさしいエネルギーである太陽光発電システム設置者に対し、補助金事業を実施します。

ふじみ野市との共同による「ごみ処理施設(仮称)ふじみ野市・三芳町環境センター」建設事業については、ふじみ野市駒林地域を建設地として、平成28年度の稼働に向け、設計及び建設工事が開始されます。

また、焼却炉施設の余熱を利用した糸熱利用施設(湯浴施設)は、新たな「ミニコミュニティ施設」として



上富小学校から三富新田をのぞむ



こぶしの里を舞うホタル



5月に行われるごみゼロ運動

期待され、平成26年6月の供用開始を目的に住民の皆さんの利用しやすい施設づくりに努めます。

町の住みよい生活環境を守り、次の世代に引き継いでいくことは、私達の責任であると考えます。町では、クリーン活動や地域でのボランティア活動が積極的に行われていますが、一方で、道路や公園などへのタバコの吸殻やごみのポイ捨て、路上喫煙など、公共の場を利用する人のモラルの低下を指摘する声も寄せられています。こうした状況を踏まえ、住民の皆さんの協力で町をきれいにする仕組みづくりが必要であると考え、きれいな町づくりに関する条例制定について検討します。

消費生活のトラブルに対応する選任相談員の消費生活相談日を週3日に拡充し、消費者が安心して消費生活が営めるよう知識や情報を提供できる相談業務を実施します。

02 魅力あふれ 喜びいっぱい 幸せになれる町

「地域イメージのブランド化」～「シティプロモーションによるよしの野菜ブランド推進支援事業」では、三芳野菜のイメージ戦略を進め、産地間競争に勝ち抜ける「農業の町・三芳」を目指します。

地域経済活性化懇談会では、農商工連携の活力あるまちづくりを目指して研究を行っており、政策提言をもとに地域経済の活性化を進めていきます。

スマートーCの東京方面開設は、まちづくり懇話会、地域説明会を開催し、広く意見を聞いてきました。スマートーCの整備効果には、利便性の向上、産業の活性化、観光促進、また東日本大震災を受けて災害時の支援助物資の搬送や救急搬送などでも着目されています。

次に、スマートーCフル化等の方向性を決める判断材料とするため、計画調査及び交差点交通量調査、また、町全体の交通政策の方向性を示す「交通ビジョン」の作成を行ってまいります。さらに住民意向を把握するため、アンケート調査を実施し、合意形成を図ってまいります。

※補足：この事業は、国の経済対策を踏まえ、事業の一部を前倒しして、平成24年度補正予算で対応しています。平成25年度当初予算と併せて円滑な執行を図り事業を進めてまいります。

★全文はホームページでご覧いただけます。



緑が豊かで、きれいな水があるこぶしの里には夏が近づくとホタルが舞う。夏休みには家族でザリガニ釣りをしている姿が。

私 — むすびに —

私が就任して2年が経過しました。いわばこの2年間は、改革に向けての種蒔きの時期でした。今年度は、蒔いた種の芽を育て大きく成長させていきたいと考えています。

「良樹細根」

この言葉は、20年近く前にイエローハットの創業者鎌山秀三郎氏から講演の際に色紙でいただいた言葉です。その時、これと対となる色紙をもう一枚いただきました。

「力耕せば吾を欺かず」

という言葉です。力を入れて畑を耕せば、秋の実りは耕作した人を欺かない。努力すれば夢は叶えられるという意味です。

良い樹木は、根が深く広く張っています。根が深く広く張るためには、額に汗して力を入れて耕作することが大切だということです。

を取り巻く環境は大変厳しいものがあります。こうした状況を克服するような決定打、逆転満塁ホームランはないと言っても過言ではないでしょう。各自自治体とも地域間競争に勝ち抜くために、必死になつて知恵を絞り、身を削り、汗を流しています。

一人ひとりが、それぞれの立場で使命感をもって額に汗して働く。多くの住民の皆さまと共に「三芳町」を支えることによつて、また、支えていただくことによつて「三芳町」は良樹となつて天高く伸びていくものと信じています。

一日一日に、一つひとつの施策の積み重ねに「三芳町」の命運がかかっていると肝に銘じ、大勢の皆さまの声を真摯に受け止め、町政発展のために尽力してまいります。

三芳町長
林 伊佐雄

